

論文目録

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	小川 実加
主 論 文				
題 目				冊
Higher FVIII:C measured by chromogenic substrate assay than by one-stage assay is associated with silent hemophilic arthropathy				
(凝固一段法より合成基質法で凝固第VIII因子活性が高い血友病A患者は、無症候性血友病性関節症のリスクが高い)				
Thrombosis Research 188巻 2020年4月発行				
(既に印刷公表したものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること)				
副 論 文				
題 目				冊
(同 上)				
参 考 論 文				
題 目				冊
(同 上)				